

＜ もくじ ＞	
1. 2024年度連続講座「長寿時代を生き抜く知恵 Part3」開催のお知らせ（再掲）	1
2. 研究会からのお知らせ	2
3. 研究会からの概要報告	3
4. 事務局からのお知らせとお願い	4

1. 2024年度連続講座「長寿時代を生き抜く知恵 Part3」開催のお知らせ (再掲)

平均寿命が男女とも80歳を超え、約9割が65歳まで生存するという長寿時代がやってきました。長生きはめでたいことですが、景気の低迷、物価高、政情不安、国際紛争、自然災害の頻発など、不安材料が満載です。かつてのように家族や地域共同体に頼ることが難しくなった今日、最期まで自立し、安心して暮らせる長寿時代を実現するためにはどんな準備や心構えが必要か、この講座が皆様のヒントになることを願っております。

《講演内容・日程（開催時間は、全て14:00～16:00）》

- ◆第1回9月28日（土） 天野 彰（シニア社会学会理事 建築家）
テーマ：「長寿の家」
- ◆第2回10月19日（土） 木村 利人（シニア社会学会会員 早稲田大学名誉教授）
テーマ：「自分のいのちは自分が決める～バイオエシックス(生命倫理)を実践する」
- ◆第3回12月7日（土） 吉田 太一（シニア社会学会会員 株式会社キーパーズ代表取締役）
テーマ：「天国へのお引越し～遺品整理のはなし」
※ オープン講座ですので、会員以外の方の参加も歓迎いたします。

□主催：一般社団法人シニア社会学会・東京家政学院大学共催

□会場：東京家政学院大学三番町キャンパス1602教室、Zoom 併用によるハイブリッド開催

□参加費：会員・非会員：各回1,000円（学生：無料）

□申込方法：

①Peatix で申し込まれる場合（会場参加・オンライン参加）

<https://renzokukouza2024.peatix.com/>

②Eメールで申し込まれる場合

シニア社会学会Eメール（jaas@circus.ocn.ne.jp）へ以下の事項を記載し、お申込み下さい。

- ・お名前 ・参加区分（会員／非会員／学生【大学名と学部を明記】）
- ・参加講座（第一回／第二回／第三回）
- ・参加方法（会場参加／オンライン）オンライン参加の方は事前に参加費をお振込みください。

※ 詳細については同報のチラシをご覧ください。

2. 研究会からのお知らせ

(1) 第163回 「社会保障」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2024年8月21日(水) 18:00~20:00
- 2) 報告者：藤崎 亨(日本介護食品協議会・事務局長)
- 3) テーマ：「日本介護食品協議会とユニバーサルデザインフード(UDF)」
- 4) オンラインで開催いたします。

参加を希望される方は、阿部 (fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp) にご連絡ください。
資料をお送りいたします。

※ ご質問がありましたら、阿部(旧姓佐藤)まで 090-4436-6853

(2) 第47回「YNS やまぶき任意後見サポート会」開催のお知らせ

- 1) 日 時：2024年8月24日(土) 18:30~20:30
- 2) 場 所：品川区東大井5-18-1 きゅりあん 第二グループ活動室
- 3) 発表者：鈴木 眞澄、及びその他 YNS やまぶき任意後見、アワーズ、学会員の方
- 4) テーマ：認知症とともに生きる 「信託」と「任意後見」のことを考えていきます。

劇団 ^{びしょうざ}「B笑座」

認知症らしさを体験することで新たな発見が生まれます。人形劇、寸劇、その他
劇団員募集しています。Zoom の参加もできます。

※ お問い合わせは、鈴木 眞澄 (mme_masumi@yahoo.co.jp) 迄お願い致します。

(3) 「ライフプロデュース」研究会 「2024年8月 Zoom 交流会」開催のお知らせ

- 1) 日 時：2024年8月28日(水) 11:30~13:30 Zoomにて開催
- 2) テーマ：① パリオリンピックで印象に残ったこと
② 9月から12月の研究会(第54回)について情報共有

※各自、飲み物とおつまみをご用意して、ご紹介いただきます。

※ 参加希望の方は、8月27日(火)の午前中まで受け付けますのでお気軽にご参加ください。

連絡先：中村昌子 (nakamurayoshiko6@gmail.com) までお願いします。

当日は岩手県北上市、沖縄県南城市からも参加者有り、研究会ネットワーク更新中です。

(4) 第71回「災害と地域社会」研究会開催のお知らせ

- 1) 開催日時：2024年9月19日(木) 15:00~17:00
- 2) 開催場所：早稲田大学26号館1102会議室(対面とZoomのハイフレックス開催)
- 3) 開催主体：早稲田大学「地域社会と危機管理研究所」、当学会「災害と地域社会」研究会共催
- 4) 報告者：野坂 真(青森公立大学経営経済学部地域未来学科 准教授)
阿部晃成(地域社会と危機管理研究所 招聘研究員)

- 5) テーマ：「能登半島地震に関する報告」(仮)

※ 参加ご希望の方、お問合せは、長田 (ptb00052@nifty.com) までご連絡ください。

(5) 第99回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2024年9月19日(木) 15:00~18:00
- 2) 場 所：早稲田大学・国際会議場4階第7共同研究室
- 3) テーマ：① 討議—濱口座長：「コミュニティ論『人生の居場所が変わるとき、新旧の人生と対面する』」
② 発表—大下 勝巳：「好ましいコミュニティの創出」について
- 4) 参加費：300円

<第99回研究会は、去る7月25日(木)開催予定でしたが、連日の猛暑による熱中症予防のため休会とし、9月19日(木)に繰り延べになりました。>

※ お問い合わせは、島村 (ken-sima1941@jcom.home.ne.jp) までお願い致します。

(6) 第53回「社会情報」研究会開催のお知らせ (再掲)

- 1) 日 時：2024年9月25日 (水) 16:00~17:00
- 2) 場 所：ちよだプラットフォームスクウェア501会議室
- 3) 概 要：結局「スマホ購入に至ったか」をテーマに進める

※参加ご希望の場合は、前日までに森 moriyasu@ied.co.jp までご連絡ください。

3. 各研究会の概要報告

(1) 第162回「社会保障」研究会報告要旨

- 1) 日 時：2024年7月24日 (水) 18:00~19:20
- 2) 報告者：洪 利晃 (東京福祉大学大学院博士課程後期)
- 3) テーマ：「認知症高齢者の作品活動と認知機能との関連—回想コラージュ療法を中心に—」
- 4) 対面開催 (東京福祉大学大学院池袋キャンパス5号館3階)
- 5) 参加人数：9名

団塊ジュニア世代が65歳以上になる2040年に高齢者の6.7人に1人が認知症になると予想されている。そこで、認知症高齢者を対象とした作品活動、特に回想コラージュの作品活動により認知機能が向上しているか否かを検討することを目的とした。回想コラージュとは、写真や絵などの視覚的な媒体を用いて回想したイメージを貼り付ける美術表現法である。

介入対象者は、グループホーム入居者7名であり、実施期間は2022年7月から8月まで、週2回、それぞれ約1時間、10回実施した。介入テーマは、私の顔、私の干支などであり、改訂長谷川式簡易知能評価スケール (以下、HDS-R) を用いて認知機能を測定した。

介入の結果、グループ1の事例Gは、介入後の認知機能が9点向上、事例Cは、介入後の認知機能が7点向上した。グループ1の対象者は、年齢が70代で、介入前のHDS-Rの認知機能が高かった。作品活動では、プログラムの理解度が高く、作品の完成時間が短く、作品に対する回想や作品の表現力が豊富であった。グループ2の事例Aは、介入後の認知機能が4点向上し、事例Bは、介入後の認知機能が5点向上した。グループ2の特徴は、素材選択にこだわりが強く、集中して作品活動を行っていた。グループ3の事例Dと事例E、事例Fは、介入後の認知機能が2点向上した。グループ3は、年齢が80代後半と90代であり、介入前の認知機能が低かった。作品活動では、作品の理解も低く、作品の貼り方がアンバランスであった。

回想コラージュ作品活動は、認知症高齢者の認知機能の向上に効果的であるが、認知症が軽いほど認知機能が向上する傾向がある。 (洪利晃 記)

(2) 「ライフプロデュース」研究会、「2024年 夏の納涼会開催」のご報告

- 1) 日 時：2024年7月26日 (金) 11:30~15:30
- 2) 報告者：中村昌子 (当研究会世話人)
- 3) タイトル：「ライフプロデュース」研究会 ①交流会 ②今後の予定について話し合い
- 4) 場 所：

- ・一次会：食事交流会 銀座 羅豚 (らぶ) にてしゃぶしゃぶランチを堪能しました。
- ・二次会：9月からの研究会について意見交換会 場所：オーバカナル銀座店

今後の予定は以下のとおりとなりました。

- ・第54回研究会 9月27日 (金) 担当 柴本淑子さん
ペリリュー島の戦いとは何か
- ・第55回研究会 10月23日 (水) 担当 岡田慶子さん
- ・第56回研究会 11月27日 (水) 担当 山本恵子さん
- ・第57回研究会 12月20日 (金) 読書会「夜と霧」ヴィクトール・フランクル

池田香代子（みすず書房） 担当 長谷川洋 中村昌子

※55回、56回のテーマについては未定なので、追ってお知らせいたします。（中村昌子 記）

(3) 第46回「YNS やまぶき任意後見サポート会」の報告

- 1) 日 時：2024年7月27日（土） 18:30～20:30
- 2) 場 所：品川区東大井5-18-1 きゅりあん 第二グループ活動室
- 3) 発表者：鈴木 眞澄及び会員（YNS やまぶき任意後見サポート会）
- 4) テーマ：認知症とともに生きる （鈴木眞澄 記）

(4) 第70回「災害と地域社会」研究会概要報告

- 1) 開催日時：2024年7月31日（水） 16:00～18:00
- 2) 開催場所：早稲田大学26号館1102会議室（対面とZoomのハイフレックス開催）
- 3) 開催主体：早稲田大学「地域社会と危機管理研究所」、当学会「災害と地域社会」研究会共催
- 4) 報告者：平原幸輝（早稲田大学人間科学学術院 助教）
- 5) テーマ：「所得を網羅した都市社会研究から災害研究への応用を模索する」

平原さんは、三大都市圏や地方都市における収入格差の空間分布と時代による変化を既存データの分析から明らかにする研究に従事し、橋本健二さんや浅川達人さんの共同研究メンバーとして共著を出しておられる。

重要な点として、首都圏では地域空間的にみると都市中心部には年収1000万円以上の高所得者が集中し、都市周辺部にとくに年収200万円未満の貧困層が近年の時代の変化とともに増加しており、年収200万円から1000万円未満の中間層が減少している傾向が指摘された。しかし、京阪神圏と名古屋圏では事情が異なり、名古屋圏では大企業周辺地区などに高所得層が集まるなどの違いがある。その他教育歴、就業歴、所得などを共通指標として様々な比較を行っている。もう一つの特徴は、それらの空間分布を、1993年から2018年までの変化傾向をベースに、2018年から2043年までの変化の予測をしようとしている点である。2018年の収入格差の実測値は、1998年から2008年までの変化傾向から求めた2018年の予測値と比較すると、実際には予測以上に減少・縮小していた。

災害リスクの違いや地域特性の違いによって地域の類型化を行うことで、これらの地域ごとの格差の空間分布データの時代の変化の傾向を将来予測に当てはめる操作が、地域での災害復興の見地からどのように活用できるかについて議論していくことが今後の課題であるとした。

参加者からは大変貴重な報告であるという評価とともに、家族構成や年齢効果、世帯数などの指標が加えられると地方都市の災害復興研究者にとっても重要なデータとなるという指摘や、首都圏直下型地震における高層マンション集積地区などの被災予測にも役立つとの意見があった。

（長田攻一 記）

4. 事務局からのお知らせとお願い

◆「8時間ぶっ通し! マラソンシンポジウム」のご案内

主催：ケア社会をつくる会

共催：ウィメンズアクションネットワーク、高齢社会をよくする女性の会

後援：シニア社会学会

- テーマ：「今だから問い直す！介護保険のこれまでとこれから」
 こんなはずじゃなかった介護保険 私たちのケア社会をつくる
- 日時：2024年9月16日（月・祝）10:00～18:00
- 会場：オンラインYouTube 配信（参加費無料）
- 内容：趣旨説明：石田路子（高齢社会をよくする女性の会副理事長）
 総合司会：大熊由紀子（ジャーナリスト）

第1部 10:00～12:30（制度編）モデレーター：上野千鶴子

- 第2部 13:00~15:30 (実践編) モデレーター: 中澤まゆみ
第3部 16:30~18:00 (未来編) モデレーター: 小島美里
・申し込み: Peatix から申し込みください。 <https://csmarathon.peatix.com/>



※ 問い合わせ: ケアをつくる会 (caresociety2023@gmail.com)

◆ 「いきがい・助け合いオンラインフェスタ2024」開催のご案内

主催: さわやか福祉財団

- ・全体テーマ: 「目指せ 地域共生社会 ごちゃまぜにつながろう!」
それぞれの地域はどう具体的に進めていけばいいのかわからない。抱えている悩みや課題の解決に向けて、必要な考え方や助け合いの多様な働きかけ方を学び合う。
- ・開催期間: 2024年10月15日(火)~10月24日(木)
- ・開催方法: 完全オンライン配信形式
11月30日(土)までライブ配信以外の全プログラムがアーカイブ配信で視聴可能
- ・主な内容:
オープニングフォーラム: 「地域共生社会をみんなで作るための提言」
特別トーク: 各界代表者による特別講演 / 学ぼう編: 8テーマ / 語ろう編: 3テーマ
- ・申込期間: 2024年8月14日(水)~10月24日(木) (最終申込日)
- ・参加費: 1000円(税込)

※ 詳細は、「いきがい・助け合いオンラインフェスタ2024」特設ページ URL

<https://festa.sawayakazaidan.or.jp>

※ 問い合わせ: 公益財団法人さわやか福祉財団 オンラインフェスタ担当

メール: festa@sawayakazaidan.or.jp

電話: 03-5470-7751 (平日9:30~17:30)

< 会員情報変更時のご連絡のお願い >

事務所移転後は、各種ご連絡をeメールや郵送で行うことが多くなっております。会員情報(氏名・住所・メールアドレス等)に変更が生じた場合は、速やかにご連絡くださいますようお願いいたします。なお、電話による連絡はご遠慮いただいております。シニア社会学会事務局あて連絡は、eメール: jaas@circus.ocn.ne.jp 又は郵送いずれかの方法にてお知らせください。

< 2024年9月 JAAS News の発行日 >

次回JAAS News 第301号の発行日は、2024年9月18日(水)です。原稿をお寄せ下さる方は、9月13日(金)までに、学会宛のeメール添付にてお願いいたします。

シニア社会学会 事務局一同

一般社団法人 シニア社会学会・事務局
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア1037
eメール: jaas@circus.ocn.ne.jp URL: <http://www.jaas.jp/>